

2024年7月11日

各位

会社名 コージンバイオ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中村 孝人  
(コード：177A 東証グロース市場)  
問合せ先 専務取締役営業統括 中村 雄一  
(TEL 03-5459-1575)

### 共同研究契約の締結に関するお知らせ

コージンバイオ株式会社（本社：埼玉県坂戸市、代表取締役社長：中村 孝人、以下、コージンバイオ）は学校法人麻布獣医学園 麻布大学（本社：神奈川県相模原市、学長：川上 泰、以下、麻布大学）と「エクソソーム産生量増加のための培地の検討」（以下「本研究という」）に係る共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

エクソソーム (Exosome) とは、生体内の細胞や培養中の細胞から産生、放出される直径 100nm 程度の細胞外小胞 (Extracellular Vesicles : EVs) で、タンパク質、DNA、RNA などの生体物質を運んでおり細胞間の情報伝達の役割を担っているとされています。

エクソソームがさまざまな疾患に関与している可能性が報告されていることから、新しい治療法の開発を目指し、世界中でエクソソームの研究が急速に進展しております。

これらの研究開発において、培養中の細胞からエクソソームを効率的に産生、回収することが求められていることから、コージンバイオは 2024 年 7 月 10 日にエクソソーム産生用無血清培地「KBM EV Pure」を発売いたしました。

エクソソームの医療への応用は、ヒトの再生医療のみならず、動物の再生医療での活用も期待されていることから、本研究はコージンバイオと麻布大学 獣医学部 獣医学科 小動物臨床研究室の西田 英高 准教授とで間葉系幹細胞由来エクソソーム産生量を増加させるような培地について開発することを目的としたものとなります。

西田准教授のこれまでの研究の中で、「KBM EV Pure 試作品」を使用し、ヒトの細胞のみならず、イヌの細胞からエクソソームを回収することに成功しております。

本研究により、エクソソームを活用した研究や医療への応用に最適な培地の供給を目指してまいります。

なお、当該共同研究契約の締結に伴う当社業績への影響は軽微であります。

以上

#### コージンバイオについて

コージンバイオ株式会社は、1981 年 4 月に設立し、細胞培養用培地や体外診断用医薬品、細菌検査用培地の製造販売、細胞加工の受託を中心に事業展開を行っております。近年ではグローバルで再生医療の市場が急速に拡大しており、細胞の培養に使用される培養液の研究開発に注力するとともに、国内外で再生医療分野でのさらなる事業拡大に取り組んでおります。

#### 麻布大学について

麻布大学は 1890 年に東京獣医講習所として東京市麻布区に創設されました。

1950 年に麻布獣医科大学として開学、1980 年に麻布大学に改称。2025 年には 135 周年を迎える歴史ある大学です。

「獣医」「動物」「健康」「食物」「環境」という 5 つの視点から“地球と共に生きる”未来を描いています。